

# 「平和の礎」戦没者名簿の 空間分布復元図から見る 南城市の沖縄戦

令和6年度 戦争体験証言を用いた教材開発ワークショップ

主催:南城市教育委員会文化課

日時:令和6年8月1日(木)13:00~17:00

場所:南城市役所1階 大会議室

講師:山口 剛史氏、山城 彰子氏

# 「平和の礎」 戦没者名簿の空間分布復元図とは

## (1) 名簿について

- 「平和の礎」に刻銘されている戦没者についての名簿データ(2016年1月時点)。
- 知念村、玉城村、佐敷村、大里村(現与那原町域は含まない)出身者のデータを抽出し、分析。

## (2) 目的、分析手法

- 「氏名」、「生年月日」、「出身字名」、「戦没時期」、「戦没場所」の情報を利用して、戦没場所の空間分布を明らかにする。
- 名簿に記載されている戦没時期、年齢、性別、出身地域などの属性情報から各テーマを設定し、沖縄本島の地図上にポイントを図示することで、その属性ごとに空間分布が異なることを示す。
- 名簿の属性情報を利用しテーマごとに可視化した空間分布図を作成→視覚的に戦没状況を捉えることができ、その背景を考察するきっかけとなる。

# 「平和の礎」 戦没者名簿の空間分布復元図とは

## (3) 分布図のテーマ

- A) 南城市出身者全体の時期別戦没地(1945年4月~8月)
- B) 玉城村出身者の戦没地分布
- C) 大里村出身者の戦没地分布
- D) 佐敷村出身者の戦没地分布
- E) 知念村出身者の戦没地分布
- F) 15歳から50歳の男性の戦没地分布
- G) 女性、高齢者、子どもの戦没地分布

## (4) データの処理について

- 戦没場所を表す地名情報には様々な表記がある→これらの地名を統一的な地名に読み替えた
- 字名より詳細な地名(番地や壕など)がある場合→字名に統一した
- 戦没場所が不明な者や広範囲すぎるもの(「ヤンバル」など)、分析対象から除いた

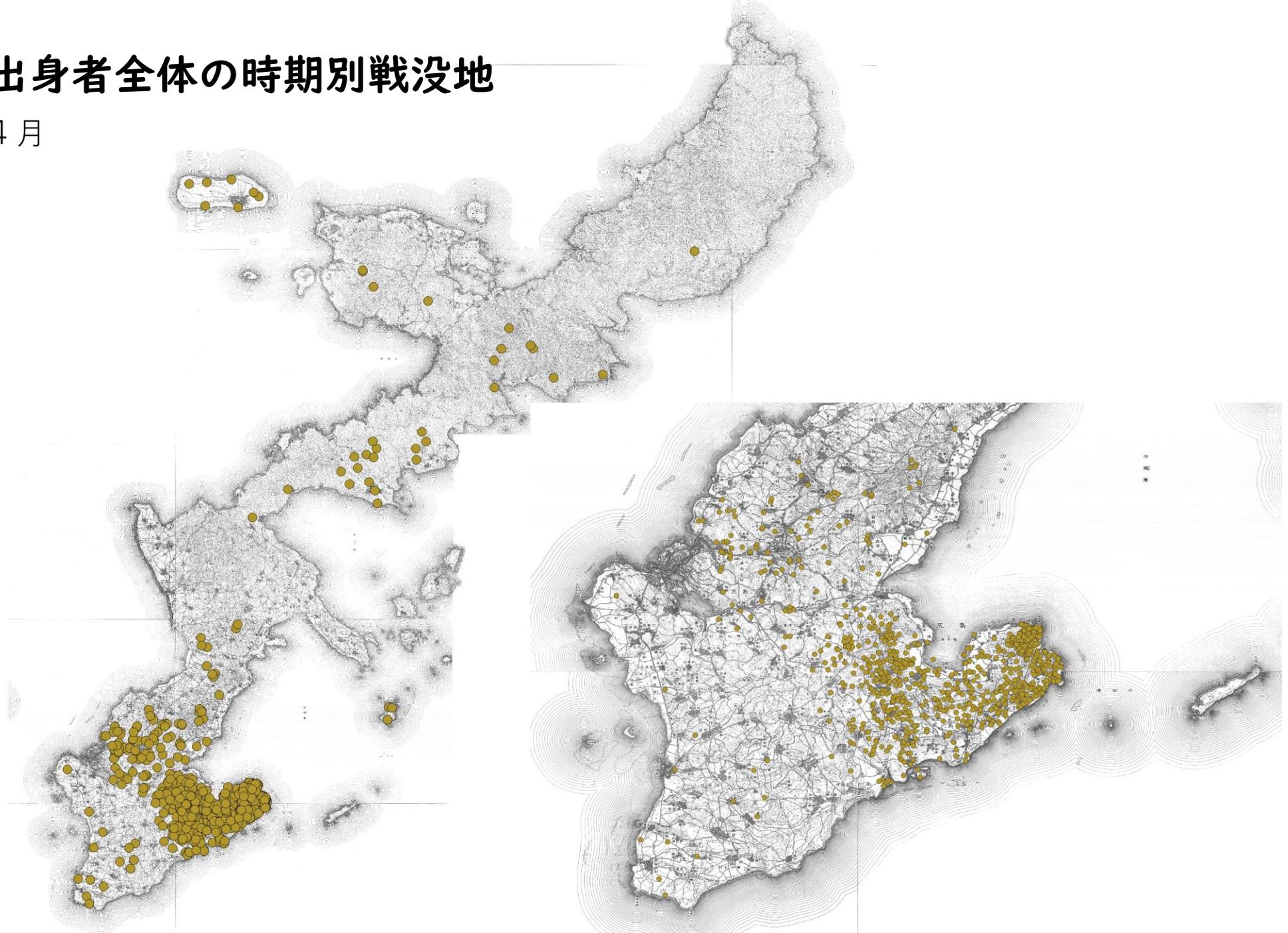
<データ解析および空間分布復元の作成、監修は渡邊康志(GIS沖縄研究所)>

# ディスカッション

- ① 各グループで、それぞれの「戦没地分布図」を見てみましょう。
- ② 各グループで、自分の地域（玉城、知念、佐敷、大里）の「戦没地分布図」から分かること、疑問をあげてみましょう。
- ③ 分かったこと、疑問に思ったことを発表して、共有しましょう。

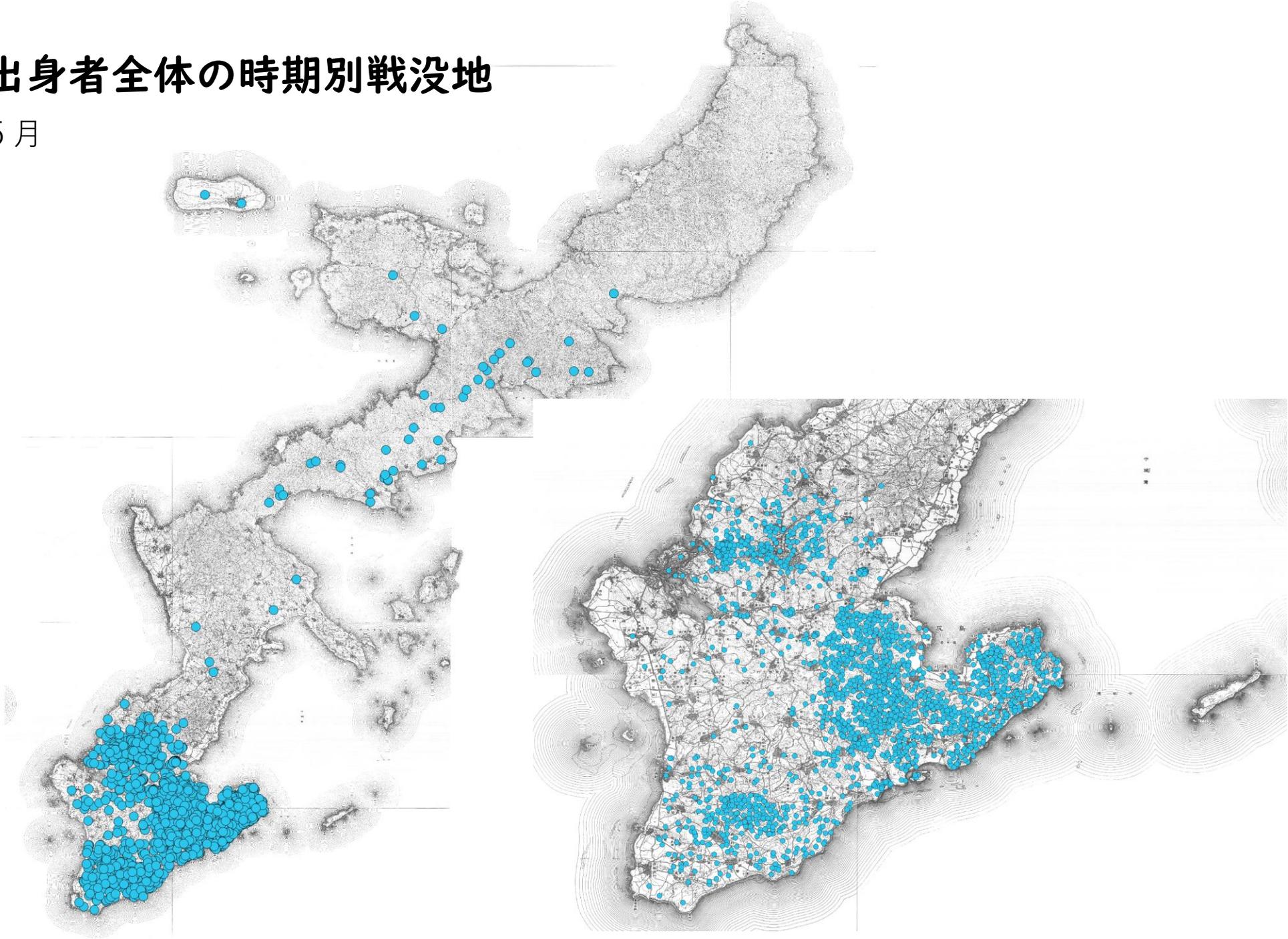
# A) 南城市出身者全体の時期別戦没地

図1 : 1945年4月



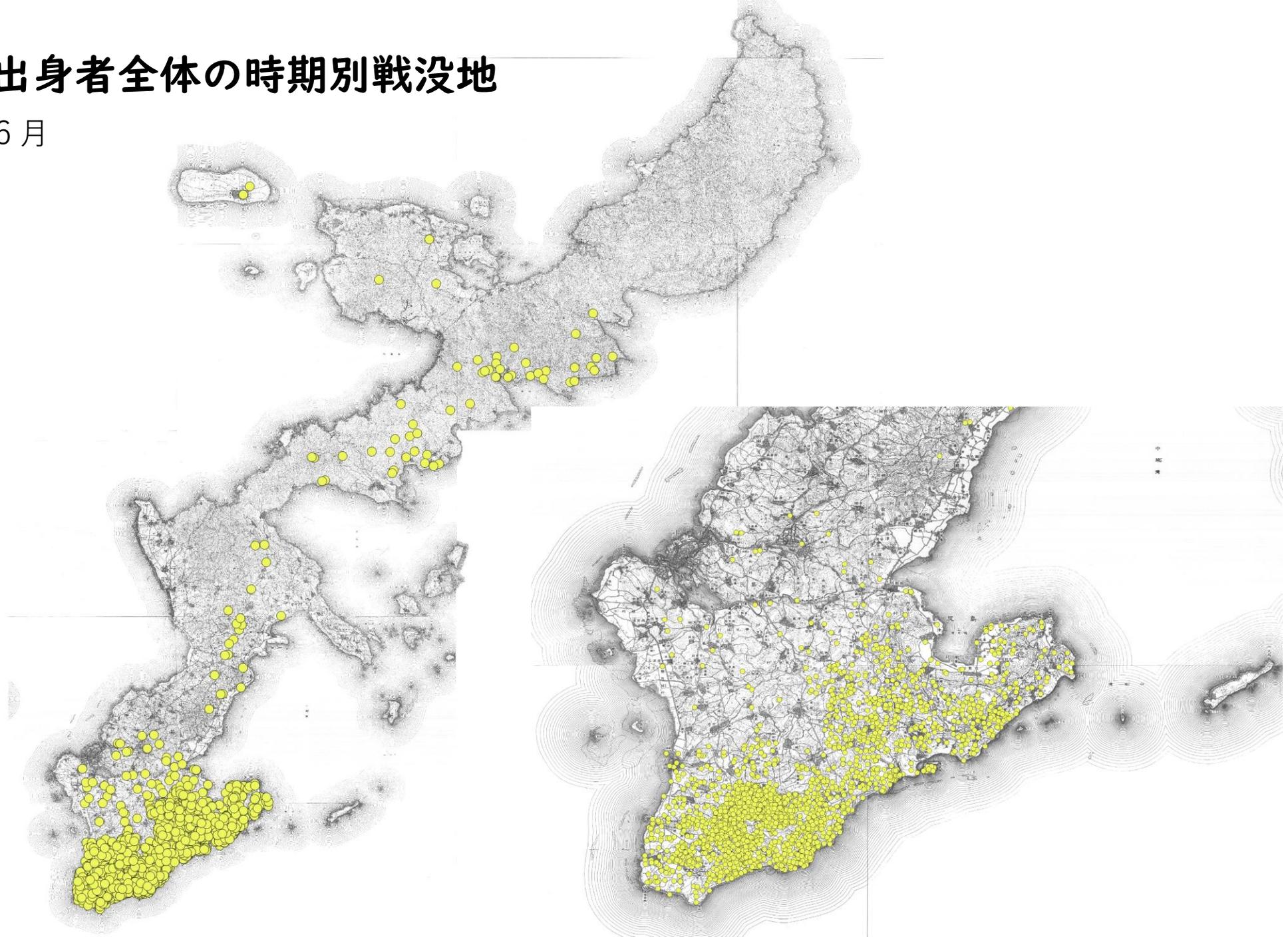
# A) 南城市出身者全体の時期別戦没地

図2 : 1945年5月



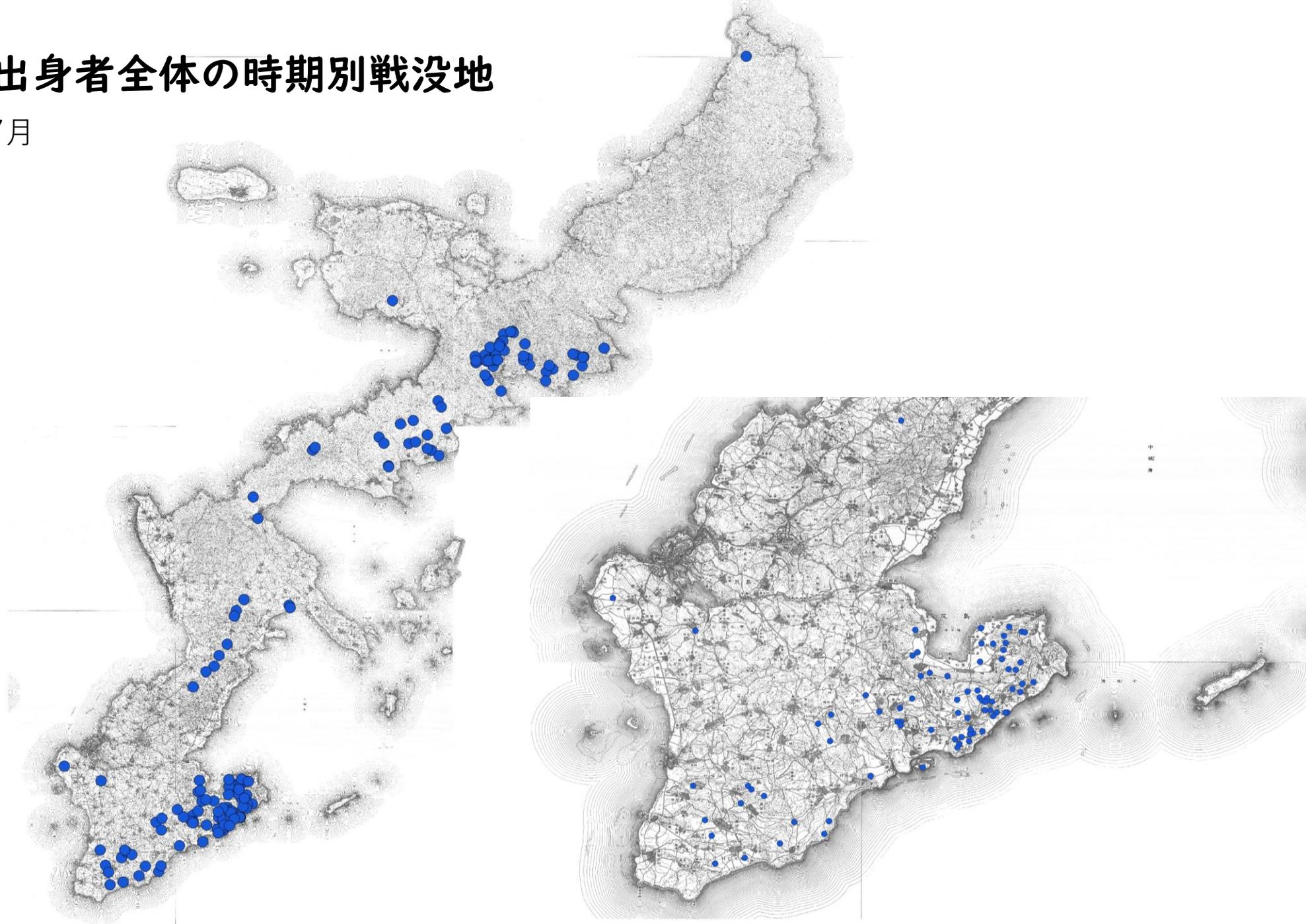
# A) 南城市出身者全体の時期別戦没地

図3 : 1945年6月



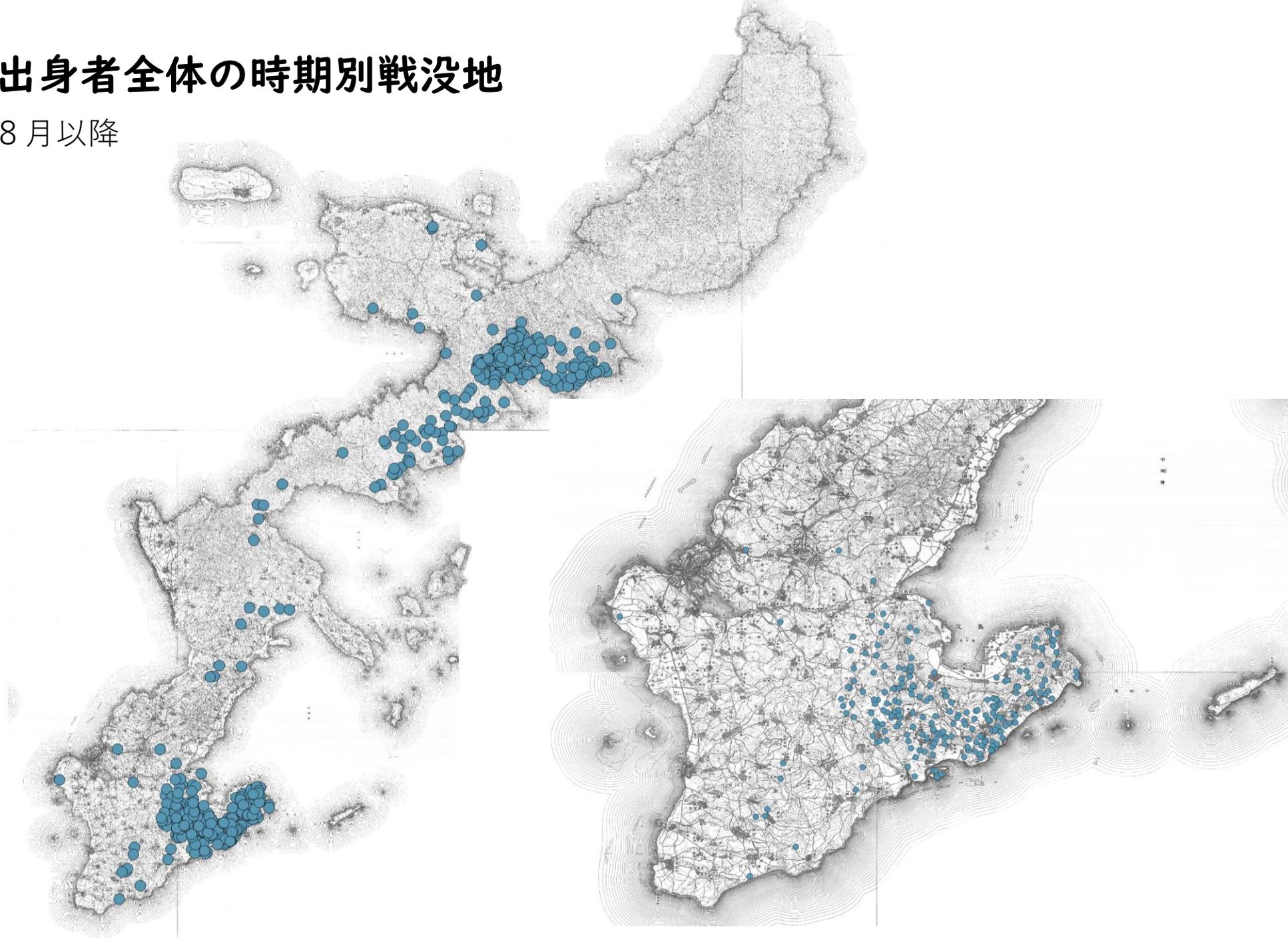
# A) 南城市出身者全体の時期別戦没地

図4 : 1945年7月



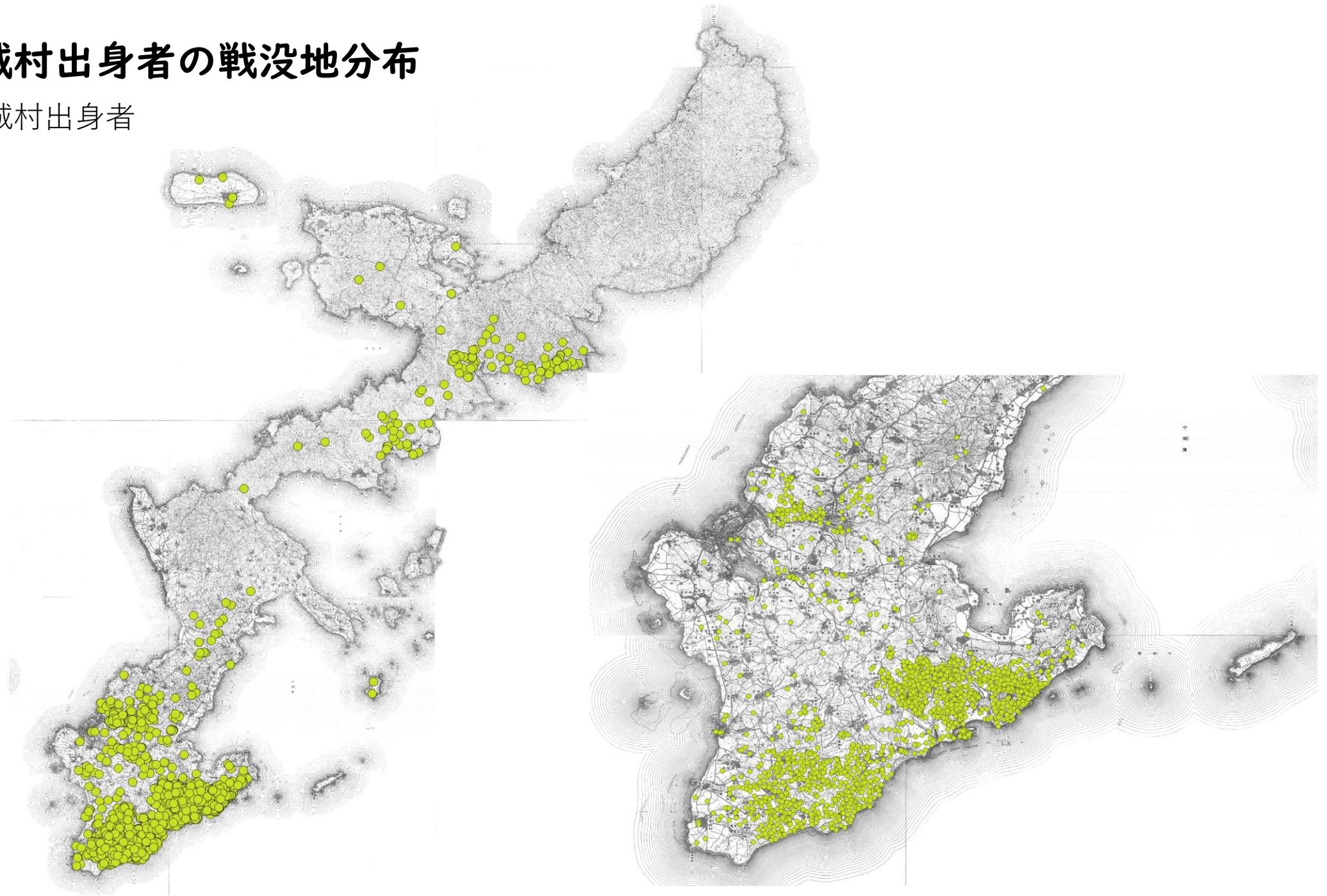
# A) 南城市出身者全体の時期別戦没地

図5：1945年8月以降



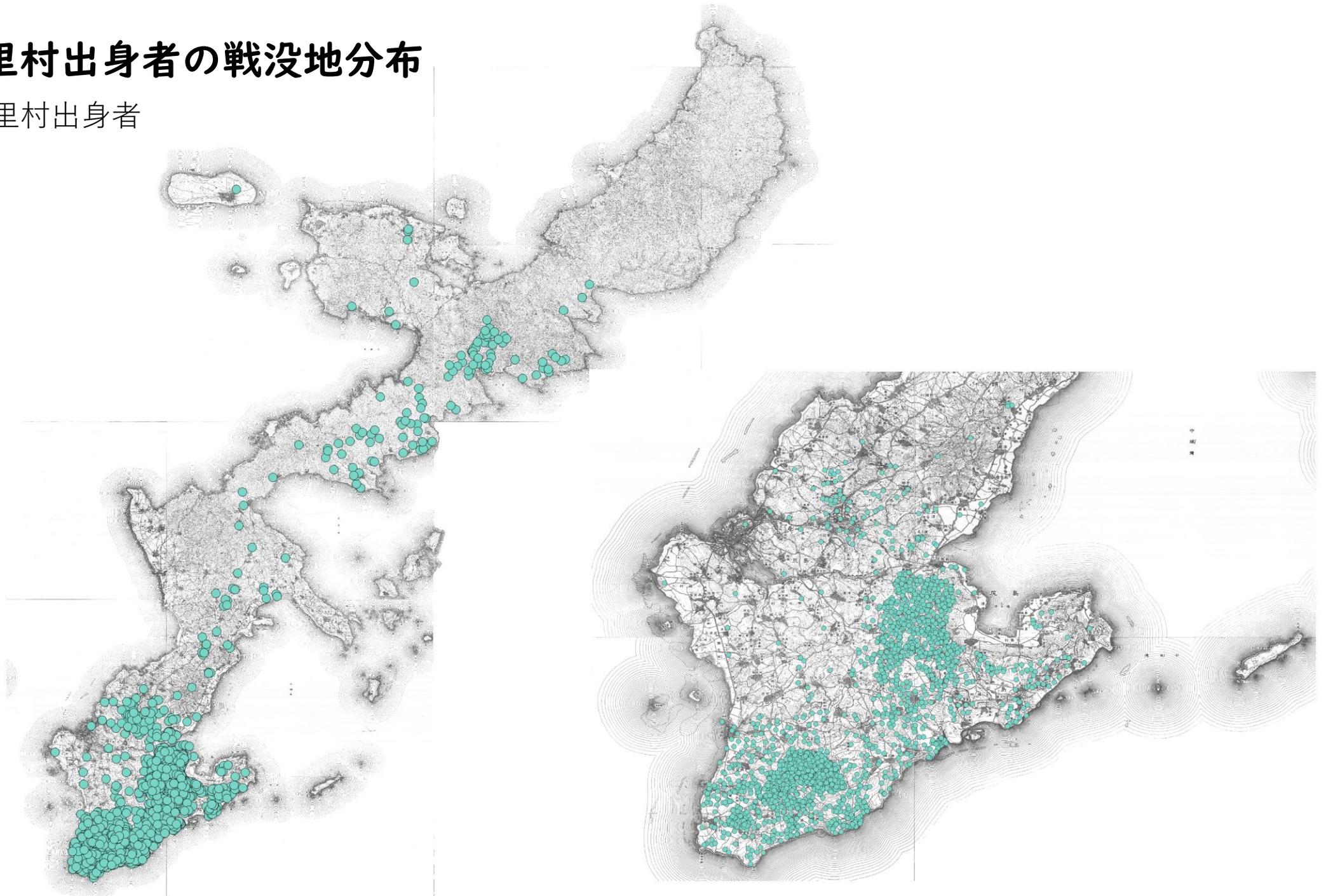
## B) 玉城村出身者の戦没地分布

図6：玉城村出身者



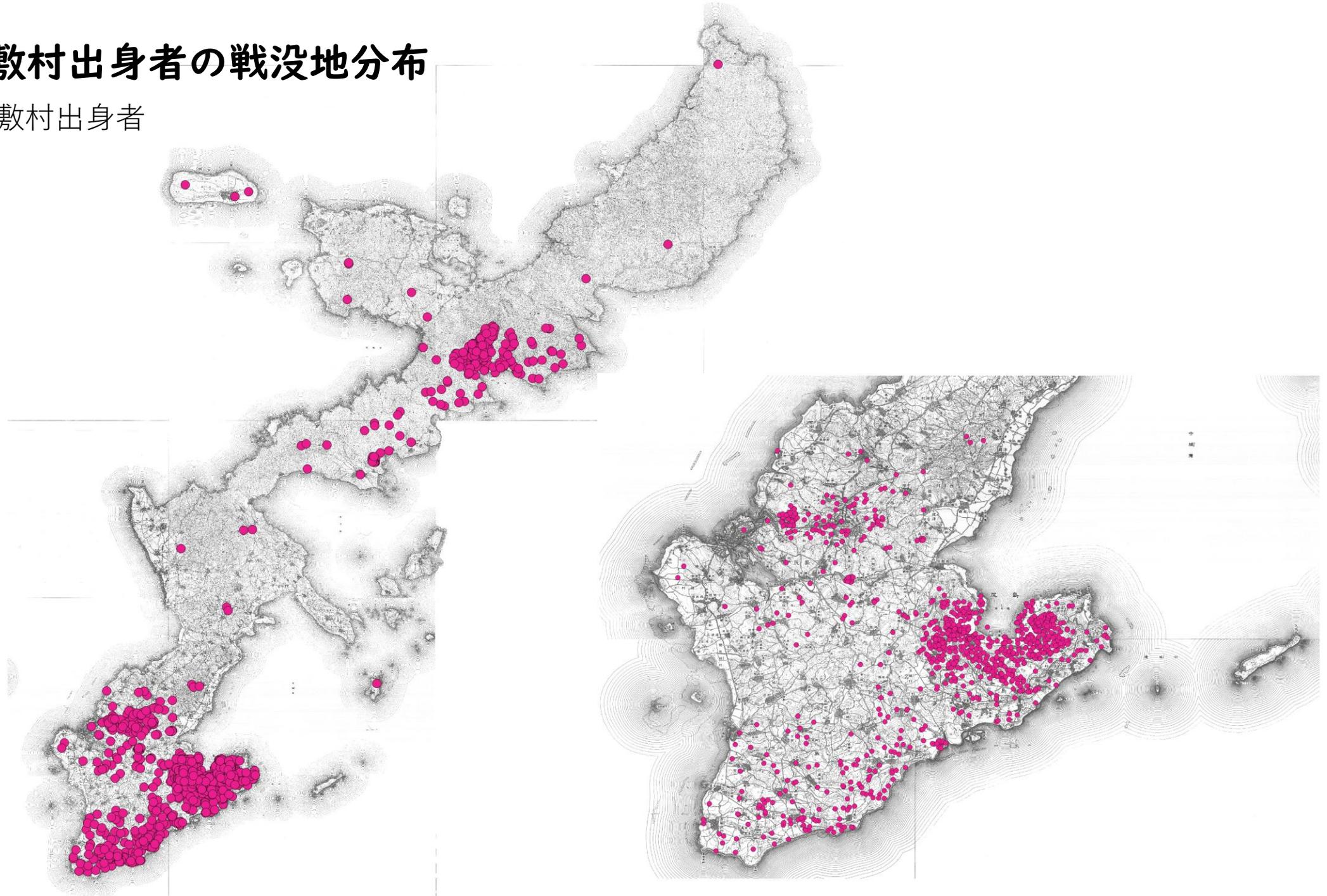
# C) 大里村出身者の戦没地分布

図7：大里村出身者



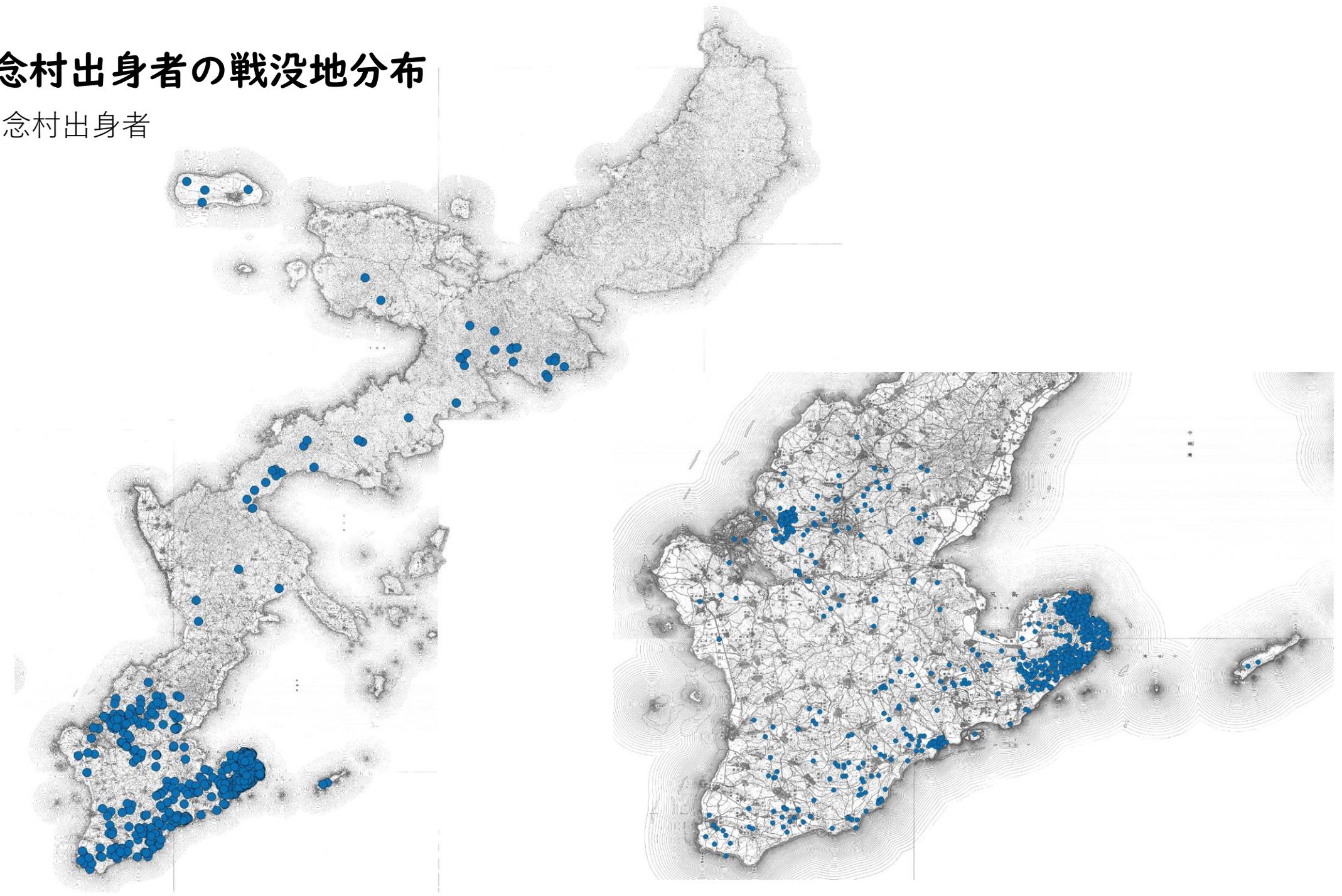
## D) 佐敷村出身者の戦没地分布

図8：佐敷村出身者



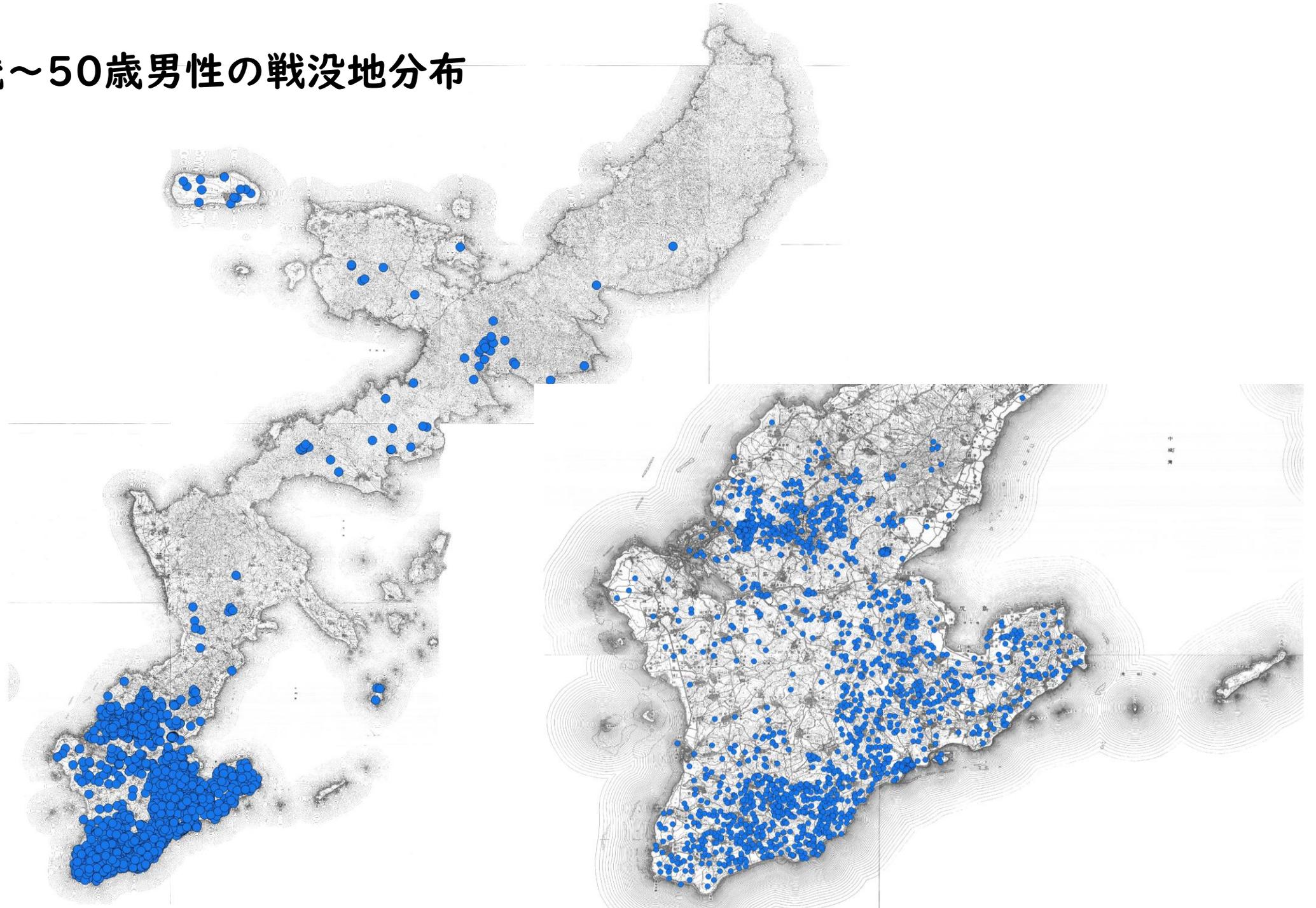
# E) 知念村出身者の戦没地分布

図9：知念村出身者



# F) 15歳～50歳男性の戦没地分布

図10



# G) 女性、高齢者、子どもの戦没地分布

図11

